

年齢や障害にかかわらず働きやすい職場
[CASE2]

“障害者である高齢の「匠」を中心に障害者もいきいき働く”

川嶋印刷 株式会社（岩手県 印刷業）

従業員数:182人 / 平均年齢:41歳 / 60歳以上:8人(4.4%) / 障害者:6人

平成20度高年齢者雇用開発コンテスト 厚生労働大臣表彰優秀賞

1. 高齢化の状況

昭和25年創業の印刷会社です。「できる仕事は何でもやる」という方針の下、現在は紙器の製造・販売やソフトウェアの開発・販売、ホームページの制作・運用、イベントの企画・運営なども行っています。50歳以上の従業員の比率は27.5%、60歳以上の従業員の比率は4.4%と高齢者の比率はそれほど高くない、新規学卒者も安定して確保できているので、人手不足や著しい高齢化等による大きな問題に直面しているわけではありません。今後、現場の主力となっている50歳代の従業員が順次定年年齢を迎える見込みです。印刷業は技術革新の流れが非常に速く、現場のデジタル化も進んでいますが、微妙な色の識別などベテラン従業員の感性が製品の最終的な仕上がりを大きく左右します。そのため、高齢の従業員が持つ経験が非常に尊重されています。

2. 改善に至る経緯

人の手による微妙な調整が製品の仕上がりに大きく影響するため、働きやすい作業環境を整備して会社の核である高齢の従業員に能力をフルに発揮してもらわなくてはなりません。若年の従業員は入社当初からコンピュータ化された工程に従事しており、微妙な調整の基になる感性を磨く機会が限られ経験もなかなか蓄積できないので、ベテラン従業員が持つ「匠の技」を円滑に若年の従業員に継承する手立てを講じる必要もあります。また、地域に密着した働きやすい企業として、従業員のワーク・ライフ・バランスやコンプライアンスの向上に向けた取組も求められています。こうしたことから、高齢の従業員の負担を軽減する設備等の改善、ベテラン従業員を指導者とする若年の従業員への体系的な技術の伝達研修の実施、文字の大きさや書体を工夫して見やすさに配慮した文書類の作成、健康管理への配慮や安全衛生委員会活動の推進などに取り組んでいます。

3. 改善の種類と内容

《取り組んだ改善の種類》

②高齢者と障害者のペア就労

《内容》

●重度身体障害者(内部障害)である最高齢(75歳)の従業員が、凸版印刷一級技能士の高度技術者(「匠」)として後継者育成を担当しています。

●「匠」については、本人の希望に合わせて勤務時間帯を設定するなど働きやすさに配慮の上、1年ごとに労働契約を締結して勤務しています。

●他の障害を持つ従業員についても、「匠」による指導を受けながらいきいきと働いています。

